

ガバナー月信

Vol.8

2003.2.1

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES

国際ロータリー第2840地区

2002-2003年度

ガバナー 矢野 亨

376-0011 群馬県桐生市相生町5丁目493

社会福祉法人希望の家 - のぞみの苑内

TEL 0277-55-5288 FAX 0277-55-5289

yano.gov@kibounoie.or.jp

<http://www.kibounoie.or.jp/gov>

題字 矢野 亨



2月は世界理解月間です

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
世界理解月間に寄せて	
パストガバナー 重田 政信	7
国際奉仕委員長 伊能 富雄	8
高崎北ロータリークラブ	
創立35周年記念式典を迎えて	9
委員会報告	11
RI ニュースから	11
文庫通信	12
新会員紹介	13
出席報告、2月の予定	14

何知名刺座
権同送快送



ガバナーメッセージ



ガバナーメッセージ
世界理解週間に寄せて

2840地区

ガバナー 矢野 亨

皆さんご存知のように2月28日は、ロータリークラブ発足の記念日であります。1905年、明治で言えば明治38年、日本は正に国の命運をかけた日露戦争の真っ只中の頃の話であります。

私達のロータリークラブ発足当時のシカゴの様子については、色々なところで述べられており、私もまた月信でこれに触

れさせていただきました。私はその発足当時のロータリーの歩みの中で、世界平和のために多くの業績をあげてきたロータリークラブの創設者ポールハリスがなぜノーベル平和賞を頂いていないのか、という至って素朴な疑問を持ったのですが、その理由の一つとして決議23-34号をあげ、この決議によってロータリーの方向付けがポールハリスをノーベル平和賞から遠ざけたのではないかという、私自身の下司の勘ぐりにも似た推論をさせていただいたのであります。

ま、それはそれ、過去の事として、現在ロータリークラブは大きく世界にはばたいております。

世界社会奉仕(WCS)災害救援、人道的援助、飢餓救済、等々また、青少年交換としての夏季交換と一年交換、ロータリー財団の交際親善奨学生制度、研究グループ交換(GSE)、マッチンググラントにポリオプラス事業など、あげれば頭の痛くなるような多方面の実績を有しております。また、昨年度から21世紀の世界平和推進者養成の為、世界平和奨学生制度がスタートしました。世界で8大学が指

題字に寄せて

皆さんご存知、良寛和尚の有名な詩の一節である。

生涯懶立身 騰々任天真
囊中三升米 炉辺一束薪
誰問迷悟跡 何知名利塵
夜雨草庵裡 雙脚等間伸

生涯身を立つるに懶(ものう)く
騰々(とうとう)として天真に任(まかす)
囊中三升米と炉辺一束薪があれば良い
誰も迷悟の跡を問う人もなく 又名利の塵等知る人もない
草庵で静かに夜中の雨の音を聞きながら
私は両足を部屋一杯に伸ばしている。
私は、ここに掲げる一行目の十字も好きだが、特に三行目の十文字が気に入っている。
「誰か問はん迷悟の跡」、「何ぞ知らん名利の塵」。敢えて、題字にさせていただきました。

定されましたが、日本では国際基督教大学が指名されております。我々の2840地区では、パイオニア地区として昨年に引き続いて25000ドルの醸金を用意しております。

また、我が国独自の米山奨学生制度も、当初はアジアからの留学生を受け入れてきましたが、現在は世界に窓口を開いております。

現在の我が国の経済状態は必ずしも良好ではありません。しかし、私達は先人の素晴らしい実績を受け継ぎながら、次代にそれを如何に伝えていくか、大きな責務を負っていると言えましょう。

ロータリーの奉仕と地域福祉（其の七） 2003.2月号

前号までに我が国の福祉行政については、明治以来太平洋戦争終結に至るまで、全く恥かしくなるほど遅れており、為政者は一体何を考えていたのか、不思議に思えてならないのですが、そのように福祉に対する貧困極まりない社会情勢のなかで、孤軍奮闘した特筆すべき人がいたのです。

慈善事業思想の展開は、その典型を19世紀のイギリスに見ることができますが、日本でも明治の産業革命を背景に慈善事業思想は幼いながらも芽生えつつありました。

特にその多くは、キリスト教信者によって支えられた活動であった事が特徴的でありました。当時の社会福祉事業家として、我々は、世界にも誇りうる人とし

て、**留岡幸助と石井十次の二名を挙げなければなりません。**

この二名のかたは、わが国の福祉がまさに荒野とも言える日本の風土のになかで、二宮尊徳と共に社会福祉の実験に果敢に挑戦し、成功した人として名を残しております。

留岡幸助。1864年、現在の岡山県、高梁に町人の子として生まれる。明治維新の4年前のことです。岡山キリスト教会を作った有名な金森通倫『同志社一回卒』によって洗礼をうけ、家族の大反対を押し切って明治18年同志社大学に入学、同21年同大学を卒業、丹波の国に赴任、教会活動に尽力しますが、求められて北海道の空知監獄の教誨師となる。

当時のわが国の監獄の待遇はまことにひどいもので、あたかも無法地帯と評されてもしかたのないものであったと言われていました。留岡幸助は囚人の待遇改善に努力すると共に、明治27年には渡米してアメリカの監獄事情を見学、アメリカが作業療法を取り入れた囚人教育、実業教育を実施して社会復帰へ大きな成果をあげている実態を勉強して、2年後に帰朝しました。彼は、**キリスト教に基づくいわゆる「感化院」を巣鴨に設立。**出獄者の社会教育のみならず非行少年の感化、家庭が養育不能の子供たちを引き取って教育した。彼は『**家庭にして学校、学校にして家庭**』を唱えて(東京家庭学校)と称しました。大正2年には入学者総数237名、卒業生174名はさまざま



な職業に従事しました。**オペラ歌手で藤原歌劇団を作った有名な、藤原義江もこの(東京家庭学校)卒業生でした。**

当時この東京家庭学校の入学希望者が多く、巢鴨の土地が狭くなり大正2年北海道の遠軽の地に**1000町歩の土地を手に入れ(北海道家庭学校)**として新たな出発をしたのです。

彼の理論的な師はペスタロッチであるが、思想は寺院的キリスト教ではなく、社会的キリスト教とも言うべくわが国の近代社会事業の祖といわれている。

私は、一昨年8月この北海道家庭学校を見学に行きました。

なぜならば、私はこの『家庭学校』という名称に惹かれたのであります。その理由は私は10年勤務した日本医師会の役員を平成8年に退いて、ひき続き、現在日本学校保健会の会長をしておりますので、学校教育、家庭教育には、弥が上にも関心を持たざるを得ない立場にあるからです。これから、少し紙面を頂いてこの日本学校保健会の概略を紹介しておきたい、と思います。

この法人は、文部科学省管轄の財団法人ですが、その組織の構成は全国の学校医、学校歯科医、学校薬剤師の学校三師の他、校長部会、保健主事部会、養護教諭部会、学校栄養士部会から成り立っております。また、各都道府県や郡市区にそれぞれ学校保健会があり、各都道府県や郡市区におかれては、それぞれの立場から学校保健活動を展開していただいております。これら現場と日本学校保健会との連携につい

ては組織上、十分なネットワークが出来上がっております。

この日本学校保健会では児童生徒の「からだ」と「こころ」の健康について二十に余る委員会を構成し、調査研究事業を行って教育現場に各種の指導書やマニュアル、パンフレットや報告書を配布しております。

現在、**児童生徒を取り巻く環境には色々な深刻な問題が起きていることは、皆様御承知の通りであります。**例えば、年々増加する不登校、殺傷を含む暴力事件、性の逸脱行動、薬物乱用等、**ドロップアウトする子供達が問題になっており、その予防対策には学校のみならず家庭、地域社会の三者の協力が必要であることが叫ばれております。**特に家庭教育については核家族化の進展と共に教育の弱体化が指摘されており、そのために家庭教育の強化と学校教育との緊密な連携が求められているのであります。

明治の時代に、この留岡幸助がドロップアウトした子供達の救済と教育のためには、何が何でも家庭の力が必要であることに着目したことは、まさに卓見でありました。**具体的には家庭的な雰囲気の中で、このような子供達と生活を共にしながら教育をしていく、という大変困難なことを、いち早く実践した留岡幸助の慧眼と実行力に深い敬意を表したいと思っております。**

このようなことから私は北海道家庭学校へ是非見学をしたいと考え、学校保健会の事務局長を同道して北海道へ出かけた

のであります。この学校は網走市の近くの遠軽にありました。羽田から約一時間半、女満別空港に降りて、タクシーで一路、家庭学校のある遠軽(エンガル)を目指したのですが、果てしない渺茫たる緑の原野を通過しつつ、ゴルフクラブハウスで簡単な昼食をとりました。そのゴルフコースではプレイしているのは僅か数組で、私達が利用した食堂も閑散としており、ウエイトレスやウエイターが日本語の上手でない東南アジア系の人であったことを考えると、このクラブは完全な赤字経営であろうと同情したところです。

ゴルフ場を発ってタクシーで約一時間、ようやく遠軽に到着し木造の本館で家庭学校の校長先生から話を聞く事が出来ました。大正12年に感化院になり、昭和9年に北海道少年教護院となり、**平成10年児童福祉法が改正され、児童自立支援施設**となったようであります。寮舎は7つあり、1つの寮舎に7、8人の少年達が寮長夫妻と寝食を共にしながら、家庭的な愛情を受けながら運営されていました。**野菜作り、果樹、木工、酪農等、自然と立ち向かった生活**の中で、かたわら学校教育を受けながらの生活は羨ましいものがありました。

この「北海道家庭学校」は、大正3年、国有林1000町歩の払い下げを受けて発足しました。その後、約半分を小作農地として開放し、現在は430町歩の校有地が残っていますが、まだまだ広い。北海道の大自然を友として、家庭の愛情に包まれ、キリスト教の雰囲気の中での生

活は、子供達に立ち直りの為の素晴らしい環境を与えてくれます。

やがて全国各県に、感化院、現在の児童自立支援施設がありますが、おおむね「北海道家庭学校」のスタイル、すなわち子供達数人と寮長夫妻の共同生活という形が原型となっているようです。しかし、時代は移り、寮長夫妻に人を得難いという環境変化は、甘んじて受けなければならないようですが、**留岡幸助の「家庭学校」創設の脈々たる精神は受け継がれているもの**と思います。

石井十次。慶応元年(1865)宮崎県にある高鍋藩の藩士の家に生まれる。向学心が強く、海軍士官を志して上京、攻玉社に学ぶが脚気になり帰郷、病癒えて100丁歩の開墾に従事、また熱心なクリスチャンであった宮崎病院院長の荻原百平の知遇を得、院長の勧めで、**明治15年に岡山医学校入学、牧師金森通倫の教会に身を寄せ**、信仰と医学の勉強の傍ら、孤児の救済にあたりました。自らは、孤児の友、盲啞の友、病者の友、貧者の友、寡婦の友、囚人の友、として、「**六友居士**」と名乗った。明治22年第三高等中学校医学部を退学し、医学を捨て、孤児救済一本に絞り、岡山孤児院を設立多くの孤児を収容した。彼の孤児院では、午前は賛美歌、聖書の朗読、と勉強に当て、午後には技術を身に付かせるための職業教育を行い、社会に出していったのです。

彼は何故医学を捨ててまで、孤児救済にのめり込んだのだろうか。私が月信の



1月号でも延べましたように、明治の当時、日本は貧しい発展途上国にすぎなかったのです。資本主義体制も未熟で、貧民が巷に多く、国の救貧対策は誠にお粗末の限りで、富国強兵を目指して軍事費予算は膨大でも、社会的弱者に対する福祉のための予算は皆無に等しい状態でした。其の為、救貧福祉対策は勢い民間の篤志家や慈善事業に委ねられざるを得ないというのが実情でした。**石井十次は目の前に展開されている貧民の惨状を見て、彼の救貧福祉への燃えるような情熱は、医学の勉強を続けようという意欲を消し去ったものと思われま**す。

明治24年、名古屋に大地震が起こるや、石井十次は、名古屋震災孤児院をつくって多くの孤児を收容します。これは後に岡山孤児院に統合されますが、明治30年には大阪に進出、大阪の**浮浪者2000人以上を收容**しました。明治39年東北地方に冷害がおきるや農村では、貧困のため子女の身売りが多発しました。石井は東北を巡回して、これら**身売りされようとする子女を孤児院に收容**したのです。このため、岡山孤児院は1200名の大世帯となります。石井は故郷宮崎の**茶臼原の原野を手に入れ**孤児350名を、岡山からここに移し開拓しながら「**鍬鎌主義教育**」を実践します。彼はまた**孤児教育の基本理念を「家族主義」**においたのですが、これは前に述べた**留岡幸助の「家庭学校」**の発想と全く同様に、素晴らしい卓見といえましょう。彼はまた子供達に対して「**満腹主義**」を掲げ、職業教育を施

しながら、次つぎと社会に送り出しました。この偉業には隠れた後援者がいました。それは、大原財閥の大原孫三郎であり、彼に共鳴した数多くのボランティア活動家のいたことを忘れることができません。

註：大原孫三郎（1880～1943）岡山県倉敷村の大地主の子として生まれ、早稲田大学に学ぶ。20歳の時、岡山孤児院経営者の石井十次のキリスト教人道主義に同調して終世経済的援助を惜しまなかった。大原孫三郎は大正15年倉敷紡績を設立、中国銀行、中国電力などを設立、私財を投じて大原社会問題研究所、倉敷労働科学研究所、大原美術館などを設立した人として歴史に名を残している。

強調月間に因んで



世界理解月間に寄せる

パストガバナー
重田 政信

2月是世界理解月間

ロータリーにとって、2月は特別の意味を持っています。ポール・ハリスは1905年の2月23日に3人の友人を語らい、シカゴで初めてロータリーの会合を開きました。従って、2月23日はロータリーの創立記念日に当たりますが、R I 理事会の決定によって、1983年からこの記念日を**世界理解と平和の日**と呼ぶことになり、1984年から2月が**世界理解月間**に指定されました。更に、1992年の規定審議会の決議によって、毎年2月23日～29日を**世界理解と平和週間**と呼ぶことになりました。各クラブはこの特別期間を利用して、国際理解と平和や友好親善のためのプログラムを実施することが期待されています。

一方、ハーバート・ブラウン・1995-96年度R I 会長は、「世界平和は家庭や地域社会から広がる」として家庭の重要性を説きました。これを受けてR I 理事会は「家族への献身」をR I 強調事項に指定し、2月の第2週を**家族週間**とすることを決めました。この**家族週間**中にロータリアンは家族と地域社会のために奉仕することが求められ、またクラブは「家族と地域社会」のために優れた奉仕を行った人を表彰することが奨励されています。以上の年間行事は、いずれも皆様がお持ちの「ロータリー手帳」に印刷されています。

2月はロータリー創立記念日が入るために、このような盛り沢山の行事がありますが、もう一つ忘れることの出来ないのが**追悼記念週間**です。これは1月27日(ポール・ハ

リスの命日)を含む1週間(月曜～日曜)であり、2月まで繰り越されることがあります。今年は1月27日が月曜日ですから、1月27日～2月2日までが**追悼記念週間**に当たります。この特別週間を利用して、ロータリーの創始者を偲ぶと共に、クラブの物故ロータリアンの冥福を祈り、生前の貢献を記念するプログラムを組むことになっています。

2月は国際奉仕委員会の月

ロータリーの綱領の第4項は、国際奉仕について述べていますが、綱領の示す国際奉仕の目的は「国際間の理解と親善と平和を推進すること。」となっています。これは正に**世界理解月間**の概念に外なりません。従って、2月は国際奉仕月間と言い直すことも出来るでしょう。ソ連の崩壊により、イデオロギーの相違による東西の対立は緩和されましたが、貧富の差による南北の対立は激化の一途を辿っています。南北対立を緩和するための奉仕プロジェクトとしては、世界社会奉仕(WCS)が最も手近な奉仕活動です。

奉仕と親睦はロータリー活動の車の両輪ですが、2月の世界理解月間は、奉仕活動としては世界社会奉仕(WCS)を推進し、親睦活動としては姉妹提携やロータリー友情交換などを奨励するのに最も良い機会を提供します。国際大会への出席奨励もこの月間のテーマの一つになっています。

10月は職業奉仕月間に指定されていますが、クラブ奉仕と社会奉仕には特別月間がありません。これは、この両奉仕部門には強調の機会が日常的に与えられているので、特別月間の必要がないためであると思われます。クラブ会長さんや国際奉仕委員長さんは、この世界理解月間を利用され、国際奉仕活動の推進にご尽力下さいますようお願い致します。



世界理解月間に寄せて

国際奉仕委員長

伊能 富雄（伊勢崎 RC）

国際ロータリーと WCS プログラム

- 2840 地区の現況

世界理解月間

1905年2月23日、ポール・ハリスが、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーの3人と初めて会合を開いた2月が、特別月間として世界理解月間に指定されております。この月間中、ロータリークラブは世界平和に不可欠なものとして国際理解と友好、親善を強調するプログラムと活動を実施し、世界社会奉仕を中心としたプログラムを行うよう要請されております。

また、2月23日の創立記念日は世界理解と平和の日として順守されており、各クラブではこの日に、ロータリーの国際理解と友好と平和への献身を認め、強調しなければなりません。1992年規定審議会は2月23日に始まる一週間を世界理解と平和週間と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調することを決議しました。

世界社会奉仕（WCS）

WCS プログラムは、国際奉仕に属する活動であります。ロータリアンは、WCSを通じて、人々の生活を改善し、人々のニーズにこたえるプロジェクトを実施する。そして、他の国々に物質的、技術的、専門的援助を通じて国際理解と親善を推進します。ロータリークラブがプロジェクト遂行に当たり、十分な資

金や物質がなく援助を求めている場合、そのプロジェクトをRI世界本部のWCSプロジェクト交換に登録することが出来、WCSのプログラムは多岐にわたるが、このプロジェクトを寄贈品と奉仕活動で援助するための現物拠出情報ネットワークの活用や、資金源として世界社会奉仕カール・ミラー助成金やマッチング・グラント＝MGを使うことが出来ます。

地区はまた地区財団活動資金（DDF）を使って世界社会奉仕助成金を申請することもできます。

今、2840地区では、この地区財団活動資金（DDF）を活用し、地区研修リーダーの重田パストガバナーの推進によるタイ、3360地区との識字率向上のための研修援助。世界社会奉仕委員会で進めているフィリピン、3800地区との栄養不良児童用の食料供給援助、同じく小学校にコンピュータ導入援助をはじめ桐生西ロータリークラブと組合せによる韓国のクラブとのMGで医療器具の援助、館林ロータリークラブとの組合せではインドへの支援活動等積極的に取り組んでおりそれぞれのクラブ単位でもWCS・マッチング・グラントプロジェクトに対し、非常に関心を持たれ取り組んでいることが報告されております。

毎年、2月はロータリーの世界理解月間です。この月間に因んで一年後、二年後のWCS活動の推進に更なる一步を踏み出していきたいと思います。願っております。

高崎北口-タリ-クラブ創立35周年記念式典を迎えて

高崎北 RC 会長 橋谷 明



早いもので高崎北口-タリ-クラブは創立35周年を迎えました。

周年記念は、其の行事を契機にしてこれまでの歴史を振り返り、そこで得られた反省を踏み台として将来の飛躍を図る事に意義があると思っております。2002年12月18日に当クラブ創立35周年記念行事に当たり国際ロータリー-第2840地区ガバナー-矢野亨様、高崎市市長松浦幸雄様、高崎商工会議所会頭横田英一様を始め国際ロータリー-第2840地区第3分区アシスタントガバナー-小林弘様、国際ソロプチミストアメリカ日本東リジョン元A地区理事小山八重子様、国際ソロプチミスト高崎会長豊泉珠江様、新潟東RC会長幹事、高崎5RC会長幹事、高崎北口-タ-アクトクラブ会長幹事の皆様にご臨席を頂きそして会員御夫妻多数ご出席のもと記念式及びパーティ-が盛大挙行出来ました事はこの上ない喜びでございます。

私共高崎北ロータリークラブは1968年に高崎RCをスポンサークラブとしてチャー-

メンバー48名をもって発足致しました。以来、35年の永きに亘り多くのパストガバナー-を輩出し先輩各位のご指導ご盡力により順調に発展して居ります。特に重田パストガバナー-にはクラブ会員であると同時に地区の重鎮としてご指導を頂いて居り、大変恵まれたクラブとして成長して参りました。其の様な環境の中で培われました良き伝統を受けそれぞれの会員諸氏のご理解とご努力によって多くの奉仕活動ができたと思っております。

しかし此の35周年を振り返った時に我が国を取り巻く内外の変化は非常にめまぐるしいものがあります。政治経済は将来が見えにくく不透明不安定な要素を抱え国際情勢も又極めて激動激変混沌の状況であります。

こういう時こそ35周年を契機としてこれ



までのクラブの輝かしい歴史を見直し、かつての公式訪問や国際奉仕委員会活動に見られた高崎北RCの若々しい活動を取り戻し、今こ



そ全員が心を合わせロータリーの「友情」「親睦」「奉仕」の精神を充分発揮し、そして国際的にはポリオプラス及び識字率向上を、地域的に教育福祉の面への奉仕活動を更に充実し目標達成の為に努力して参らなければと思って居ります。今回の35周年記念行事を契機として会員及びご婦人方の相互の親睦が図られ信頼を高め更に連帯感による友情を一層深められます様会員及びご婦人方の格別のご協力をお願い申し上げる次第であります。

又、今回の記念事業としては会員各位のご理解を頂き高崎市と相談の結果、市民の福祉に役立つものを企画致しました。(軽自動車1台)

又、当クラブとしては友好クラブとしての新潟東クラブとの10年間の交流があります。

新潟東RCとの友好関係は92年～93年の角皆年度から始り時のガバナ-栗山時代多くの交流の基礎が話し合われ角皆会長の肝入で友好クラブの調印がなされゴルフの交流から一歩が始り今年で10周年になります。行事は交互に開催されて居ります。昼は親善ゴルフコンペ、夜は懇親会と楽しい交流が続いて居ります。

他クラブとの交流は勉強になり、これからも積極的に交流を続けて行きたいと思って居ります。又、今年度は新たに会報委員会事業として「温故知新」と銘打ってパスト会長を囲

んでの懇談会も試みました。その中であるパスト会長が「地区事業」をホストとして遂行することがクラブの活性化に繋がることのご意見を頂きましたが正にその言葉を思い起こして居ります。「LYRA 研修事業」をホストクラブとして担当した訳であります地区大会で大きな評価を頂きました。

高崎北RCとして過去にいろいろと事業展開をして来て居りますけれども、改めて「新たな業績」を刻んだものと感激致して居ります。



今後共この様な力を持ってクラブの活性化を図って行き連綿と続く「高崎北RC」の伝統と歴史を積み上げて参りたいと心に刻んで居る処でございます。

此の35周年記念式典にご臨席賜りました多くのご来賓の皆様を始め関係各位の友情に心より感謝申し上げますと同時にご臨席を賜りました全員の皆様の益々のご健勝と一層のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

これを契機にクラブの更なる発展に努めて参りたいと決意致して居ります。誠に有難うございました。

これを契機にクラブの更なる発展に努めて参りたいと決意致して居ります。誠に有難うございました。

委員会報告

**第2回諮問委員会
諮問委員・AG大委員長合同会議
GE壮行会 等報告**

開催日・時間 2003年 1月19日
第2回諮問委員会 12:00 ~ 13:30
諮問委員・AG大委員長合同会議
13:30 ~ 14:30
GE壮行会 15:00 ~ 16:00

会場：高崎ビューホテル

第2回諮問委員会 出席者：9名

諮問委員 吉野 一郎 桐生

諮問委員 重田 政信 高崎北

諮問委員 高木 貞一郎 館林

諮問委員 関口 隆 前橋西

諮問委員 清 章司 藤岡

ガバナー 矢野 亨 桐生西

ガバナーエレクト 森田 均 渋川

ガバナーノミニー 山崎 學 高崎南

地区幹事 根本 正則 桐生西

諮問委員・AG大委員長合同会議 27名

GE壮行会 54名

報告事項

諮問委員会及びAG大委員長合同会議のあと午後3時より森田 均ガバナーエレクト壮行会をパストガバナー（5名）矢野年度地区役員、ガバナー事務所スタッフ、森田年度地区役員、ガバナーエレクト事務所スタッフ総勢54名の出席を頂き、盛大に行われました。

矢野ガバナーの挨拶、餞別贈呈、吉野パストガバナーをはじめ出席パストガバナーの皆さんより激励の言葉やご自身の経験談などで森田 均ガバナーエレクトを勇気づけておられました。決意も新たにご出発なさることと思います。どうかお身体に充分ご留意の上、元気にお帰りをお祈り申し上げます。

（報告者：副幹事 堀口信行）

**RI ニュースから
財団学友緒方貞子氏
フルブライト賞を受賞**

前国連難民高等弁務官で、1951 - 52年度ロータリー財団学友の緒方貞子氏が、その国際的なキャリアにさらなる名誉を加えました。

緒方氏は、フルブライト記念財団から、国際理解に対しての2002年J・ウィリアム・フルブライト賞を、2002年10月11日に米国ワシントンD・C・の国際貿易センターで行われた式典で受賞しました。

緒方氏は、式典で「ロータリー財団奨学金は、国際平和と理解の生涯のプロモーターとしての将来を、いかに形づけてくれたか」について述べました。

2003 - 04年度のRIテーマ発表



1月27日（月）2003年国際協議会が始まりました。その開会本会議で、ジョナサン・マジアベRI会長エレクトは、2003 - 04年度のRIテーマとして、“Lend a Hand” 手を貸そうを示しました。

テーマ発表の瞬間、ガバナーエレクトをはじめ、会場いっぱいの出席者が、大きな拍手で新しいテーマを歓迎しました。

そのほか詳細は、RIホームページの以下のアドレス（英語）を、



[http://rotary.org/newsandinfo/
general_news.html](http://rotary.org/newsandinfo/general_news.html)

をご覧ください。

新しいロゴマークについては、
[http://www.rotary.org/newsandinfo/
downloadcenter/graphics/theme/2003/
index.html](http://www.rotary.org/newsandinfo/downloadcenter/graphics/theme/2003/index.html)

なお、ガバナーエレクトは、開会本会議
終了後、初めてのグループ討論に参加。少
しでも多くのことを勉強して帰ろうと、や
や緊張した様子で第1日の会議に臨んでい
ます。

..... 文 庫 通 信 (184号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された
皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用
に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶
版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブの事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。
以下資料のご紹介を致します。

ようこそロータリーへ

「ようこそロータリーへ 新会員へのオリエンテーション」 D.2650 2002 24 p
[申込先： 淵上勝夫 FAX (0779) 87-2560]

「ようこそロータリーへ」 D.2790 2002 27 p [申込先：D.2790 FAX(047)410-0776]

「ロータリー100年の歩み」 D.2700 2002 19 p [申込先：ロータリー文庫]

「ロータリーに憶う一言・一句」 田中弘 1999 6 p [申込先：ロータリー文庫(コピー)]

「ロータリーの道しるべ」 長崎南RC 1987 128 p
[申込先：長崎南RC FAX(095)826-4756]

「ロータリーの雑学のすすめ」 長崎南RC 1996 86 p
[申込先：長崎南RC FAX(095)826-4756]

「ロータリーの心をあなたも - 入会のお誘い - 」 D.2650 2001 24 p
[申込先：D.2650 FAX(0742)25-2651]

「アオウエオ！！ - ロータリーの心と人生のイロハ - 」 小林博 2002 4 p
[申込先：D.2510 FAX(011)222-1526]

「ロータリー情報集」 熊本グリーンRC 2002 317 p
[申込先：熊本グリーンRC FAX(096)354-4053]

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階

TEL. (03) 3433-6456 FAX. (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時 ~ 午後5時 休館 = 土・日・祝祭日

新 会 員 紹 介



安中ロータリークラブ
 入会日：2002年12月10日
 職業分類：製菓業
 勤務先：田村製菓（有）
 役職：専務取締役
 推薦者：高橋和之

田村 光三



伊勢崎ロータリークラブ
 入会日：2003年1月8日
 職業分類：タクシー業
 勤務先：つばめタクシー（株）
 役職：専務取締役
 推薦者：矢尾 章二・藤生 政雄

新井 良和



前橋ロータリークラブ
 入会日：2003年1月21日
 職業分類：内科医
 勤務先：若宮内科
 役職：院長
 推薦者：太田郁朗

山田 邦子



前橋ロータリークラブ
 入会日：2003年1月21日
 職業分類：銀行
 勤務先：（株）みずほ銀行前橋支店
 役職：支店長
 推薦者：遠山 浩

沢井 良之



桐生西ロータリークラブ
 入会日：2003年1月10日
 職業分類：結婚式場経営
 勤務先：（株）プリオパレス
 役職：取締役シニアマネージメントディレクター
 推薦者：鈴木理之

符波 明道



伊勢崎ロータリークラブ
 入会日：2003年1月8日
 職業分類：建築設計
 勤務先：遠藤建築設計事務所
 役職：所長
 推薦者：相沢 英男・塚越 紀一

荻野 浩



洪川ロータリークラブ
 入会日：2002年12月12日
 職業分類：飲料製造
 勤務先：サントリー（株）
 榛名工場
 役職：工場長
 推薦者：戸鹿野栄一

田澤 利明



前橋ロータリークラブ
 入会日：2003年1月21日
 職業分類：自動車販売
 勤務先：富士スバル（株）
 役職：代表取締役社長
 推薦者：大林正夫

斎藤 照

謹んでご冥福をお祈りいたします



高崎ロータリークラブ
 職業分類：仏教
 事業所：慈眼院住職
 2002年12月14日
 死亡（75歳）
 ロータリー歴：
 1965年11月8日入会
 1980年クラブ会長
 米山功労者
 ポール・ハリス・フェロー

橋爪 良恒殿

前橋ロータリークラブに女性会員第一号

本年50周年を迎える伝統ある前橋ロータリークラブに女性会員が入会しました。古い歴史を持つロータリークラブは女性会員の増強にややもすると消極的と言われていますが、そんな噂を吹き飛ばすニュースです。前橋ロータリークラブの大英断講えると共に、これを見習って各クラブとも女性会員の入会に更に一層積極的な努力をお願いしたい。（矢野 亨）

第 2 8 4 0 地区 2 0 0 2 年 1 2 月 出 席 報 告

クラブ数	会員数				
	12月初	12月末日	純増減会員数	女性会員数	当月平均出席率
46	2,376	2,320	-56	54	87.33

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数			
			月初	月末	増減	女性
第1分地区						
前橋	4	94.70	99	99	0	0
前橋西	3	99.51	70	69	-1	0
前橋東	3	92.98	72	71	-1	0
前橋北	4	86.34	63	62	-1	2
前橋南	3	88.62	41	41	0	0
前橋中央	4	84.03	41	41	0	5
合計(6クラブ)		91.03	386	383	-3	7
第2分地区						
桐生	3	83.33	72	69	-3	0
伊勢崎	3	89.55	75	71	-4	0
桐生南	3	78.98	54	53	-1	3
群馬境	3	91.80	51	49	-2	3
桐生西	3	92.36	67	64	-3	0
伊勢崎中央	4	80.93	62	59	-3	0
伊勢崎南	4	84.76	41	41	0	1
桐生中央	3	89.18	41	38	-3	5
伊勢崎東	4	84.61	39	39	0	1
桐生赤城	4	97.90	45	44	-1	2
合計(10クラブ)		87.34	547	527	-20	15
第3分地区						
高崎	3	92.79	77	74	-3	0
高崎南	4	92.22	76	73	-3	3
富岡	3	98.76	57	57	0	3
藤岡	4	94.30	59	59	0	2
安中	4	71.57	36	37	1	0
高崎北	3	84.57	64	63	-1	0
藤岡北	3	74.50	20	20	0	1

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数			
			月初	月末	増減	女性
第3分地区						
高崎東	3	96.61	63	61	-2	0
富岡中央	3	95.56	45	44	-1	0
高崎ソフオー-	3	83.69	52	52	0	3
碓氷安中	3	69.89	31	31	0	3
高崎セントラル	4	78.04	44	43	-1	0
藤岡南	5	83.08	37	34	-3	4
合計(13クラブ)		85.81	661	648	-13	19
第4分地区						
太田	4	90.80	99	98	-1	0
館林	3	87.66	61	58	-3	0
大泉	4	84.00	54	54	0	2
太田西	3	80.49	41	41	0	1
太田南	3	90.24	56	53	-3	0
館林西	4	85.71	23	23	0	0
新田	4	90.00	36	34	-2	0
館林東	4	83.33	32	31	-1	1
太田中央	3	85.18	36	36	0	3
館林レニアム	4	84.77	32	31	-1	0
合計(10クラブ)		86.22	470	459	-11	7
第5分地区						
渋川	3	93.30	73	74	1	2
沼田	4	93.96	58	58	0	0
草津	4	88.05	28	28	0	1
水上	4	77.70	9	8	-1	0
中之条	4	86.23	30	28	-2	1
沼田中央	3	92.50	67	62	-5	0
渋川みどり	3	88.15	47	45	-2	2
合計(7クラブ)		88.56	312	303	-9	6

2月の行事予定

- 2月 2日 茶の湯
- 2月 2日 GSE 壮行会
- 2月 3日 RA 海外研修オリエンテーション
- 2月 8日 ~ 2月 11日 RA 海外研修
- 2月 11日 GSE 派遣メンバー出発
- 2月 15日 第2回全国青少年育成委員会
- 2月 16日 第2回会員増強セミナー・退会防止セミナー
- 2月 22日 IA 海外研修オリエンテーション

2月のロータリー・レートは
1ドル 122円です

印刷用紙について

月信は見開きになりますので両面に印刷してください。インクジェットプリンタの場合、裏面ににじみまますのでインクジェット用両面印刷用紙をお勧めします。レーザープリンタ、コピーの場合は普通紙でも可です。